

国際ローミング対応エリアを拡大

～対応エリアが2つ増え、合計142の国と地域で通話が可能に～

ボーダフォン株式会社(本社:東京都港区、社長:ビル・モロー)は、ボーダフォンの第3世代(3G)携帯電話¹がそのまま使える国際ローミングサービスの対応エリアを、2006年3月2日(木)より拡大し、142の国と地域で通話できるようになります。今回新たに対応エリアになるのは、コロンビア、マリの2つの国です。

また、ボーダフォンでは、すでに対応エリアとなっている国や地域においても、これまで以上に便利にご利用いただけるよう、提携する通信事業者数を順次増やしています。3月2日現在、国際ローミングサービス対応エリア142の国と地域のうち、59の国と地域で複数の事業者と提携することとなり、合計196事業者のネットワークが利用可能となります。

ボーダフォンでは、2002年12月に国際ローミングサービスを開始して以来、海外でそのまま利用できる3G携帯電話のラインアップを充実させてきました。現在、ボーダフォンの最新カタログ(2006年2月号)で掲載している国際ローミングサービスの対応機種数は10機種²です。今後もさらに海外での利用地域拡充に取り組み、より豊かなグローバルコミュニケーションを実現してまいります。

<国際ローミング対応エリア(2006年3月2日現在)>

()内は前回の拡大から増えた数

提供サービス	国と地域	事業者数
通話	142 (2)	196 (4)
SMS(ショートメッセージサービス)	140 (2)	193 (4)
ボーダフォンライブ! (ウェブ、MMS マルチメディアメッセージングサービス)	59 (1)	80 (2)
モバイルデータ通信	59 (1)	81 (2)
TVコール(テレビ電話)	9 (-)	12 (-)

1 「Vodafone 802N」や「Vodafone 703N」など、国内専用機種があります。

2 ボーダフォンコネクカード「VC701S」を含みます。

以上

- Vodafone、Vodafone live!(ボーダフォンライブ!)およびボーダフォンコネクカードは、Vodafone Group Plcの商標または登録商標です。
- TVコールはボーダフォン株式会社の登録商標です。